

「情報公開文書」

研究課題名：病態が増悪する心不全患者像プロファイリングにおける脳機能の活用①

1. 研究の対象

2011年12月1日～2018年6月30日に当院で頭部MRIを受けられた心不全の方

2. 研究目的・方法

研究の目的および意義

最近の研究により、心不全患者さんでは脳の一部に萎縮が見られるということが分かってきました。そこで私たちは、心不全の患者さんの脳MRI画像やカルテに記載されている検査結果などの心不全に関する情報を分析することにより、心不全が脳の機能に与える影響を明らかにしたいと考えています。この研究により、心不全が脳の機能に与える影響が明らかになれば、心不全の患者さんに対する新たな治療法・治療薬の開発に役立つのではないかと考えています。

4. 研究の方法および期間

この研究では、国際医療福祉大学市川病院(旧 化学療法研究所付属病院)循環器内科に通院されている患者さんで、過去に通常診療の際に頭部MRI検査を必要とされた方のうち、心不全と診断された方と心不全ではない方を比較します。

この研究では、心不全の患者さんのデータと健康な方とのデータを比べて、どこが違うのかを検討することが必要となります。

この研究は、あなたが過去に施行された頭部MRI検査の画像とあなたのカルテに記載されている心不全に関する情報とを併せて分析を行うことより、心不全と脳の間関係を調べます。

この研究を行う期間は、平成30年8月31日までとする予定です。なお、倫理委員会の承認を得て研究期間が延長される場合があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、心不全の治療歴などの臨床情報、カルテ番号、生年月日、イニシャル、年齢、採血検査の数値、超音波検査などの生理学的検査の結果、MRI検査の画像、CT検査の画像、X線検査の画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：国際医療福祉大学市川病院(旧 化学療法研究所附属病院)
循環器内科 目黒知己

研究事務局：国際医療福祉大学市川病院(旧 化学療法研究所附属病院)
循環器内科

連絡先担当者：目黒 知己 電話：047-375-1111

-----以上